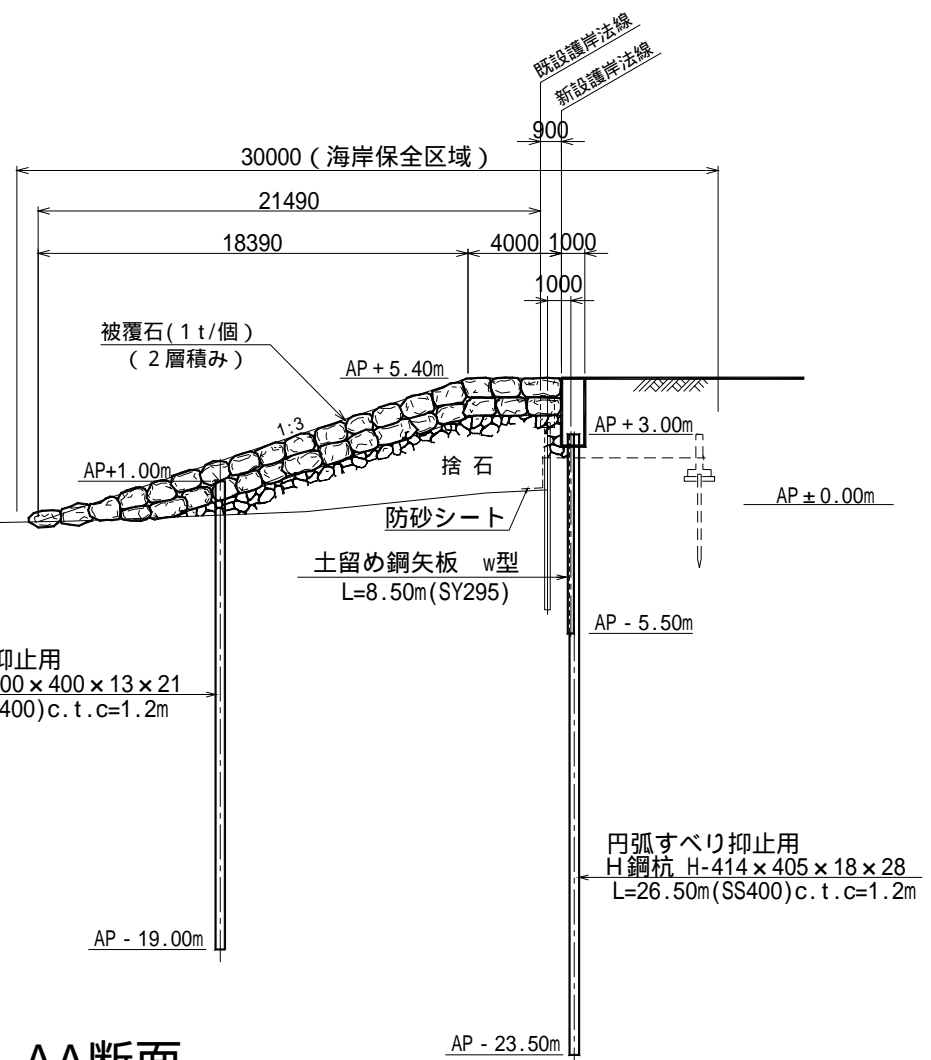
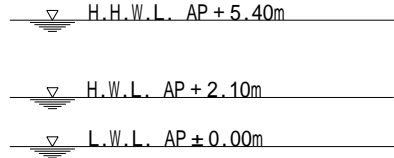
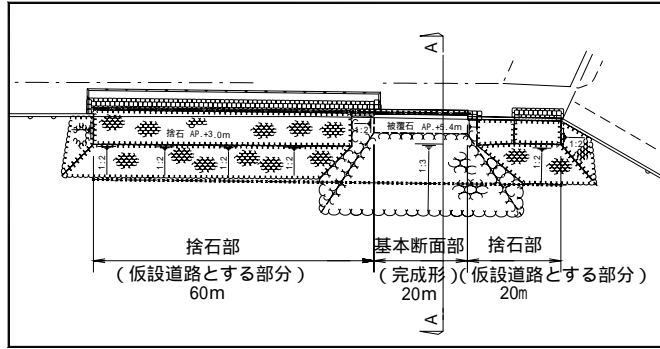


- 工事中における環境への配慮事項
- ・汚濁防止膜の設置による海水の濁りの拡散防止
 - ・ノリ養殖時期を外した海域工事期間の設定（4月～8月）
 - ・工事車両専用進入路の設定
 - ・杭打ち等による騒音・振動の発生について周辺事業所等への配慮を行う

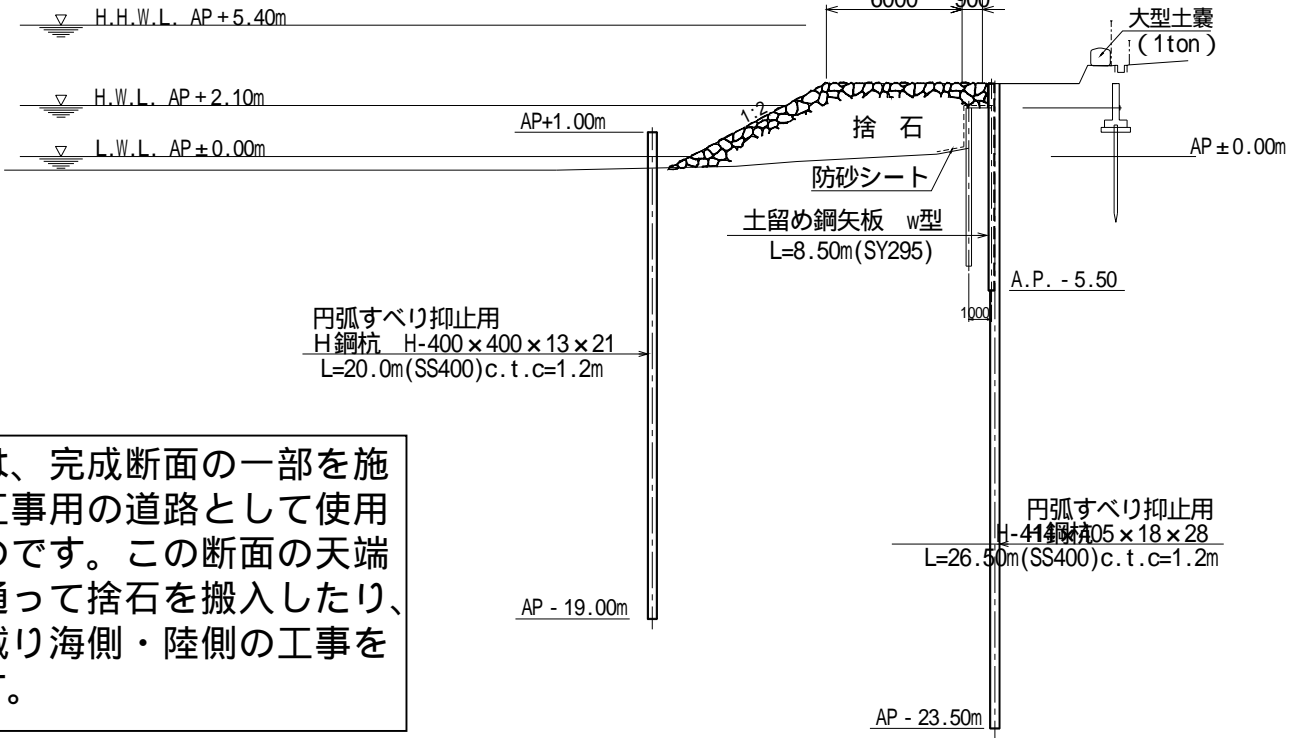
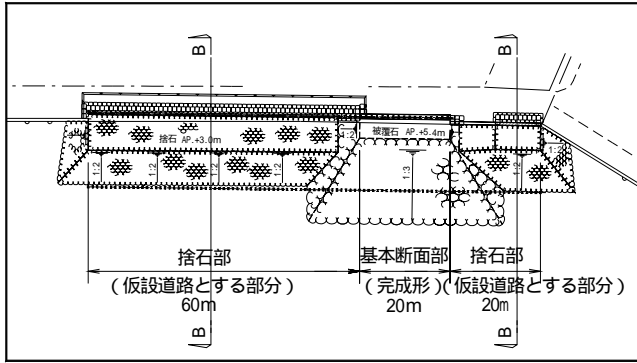
汚濁防止膜

護岸配置計画

0 5 10 15m
基準面:A.P. S=1:500



AA断面
 (護岸基本断面図：完成形)



本断面は、完成断面の一部を施工して工事用の道路として使用するものです。この断面の天端部分を通して捨石を搬入したり、重機が載り海側・陸側の工事をを行います。

BB断面

(捨石部: 仮設道路として利用する断面)

平成17・18年度施工予定区間に関するモニタリング調査項目

塩浜2丁目のH17・H18年度施工区間(約100m)を対象とする。

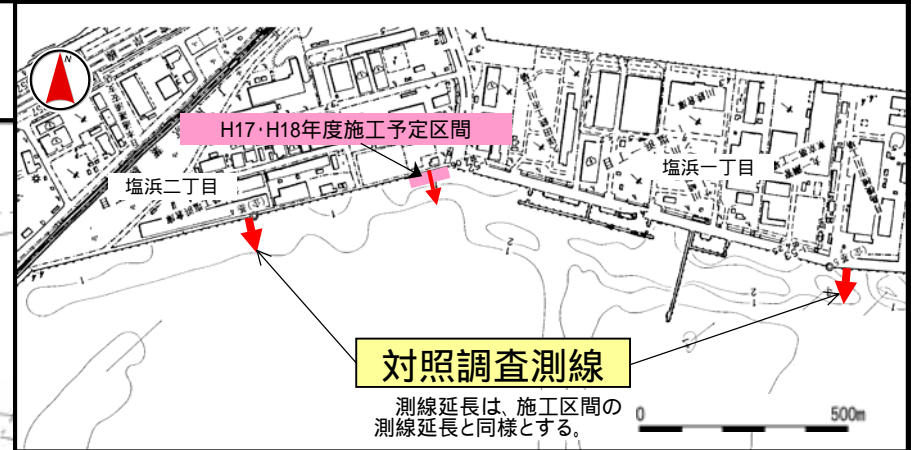
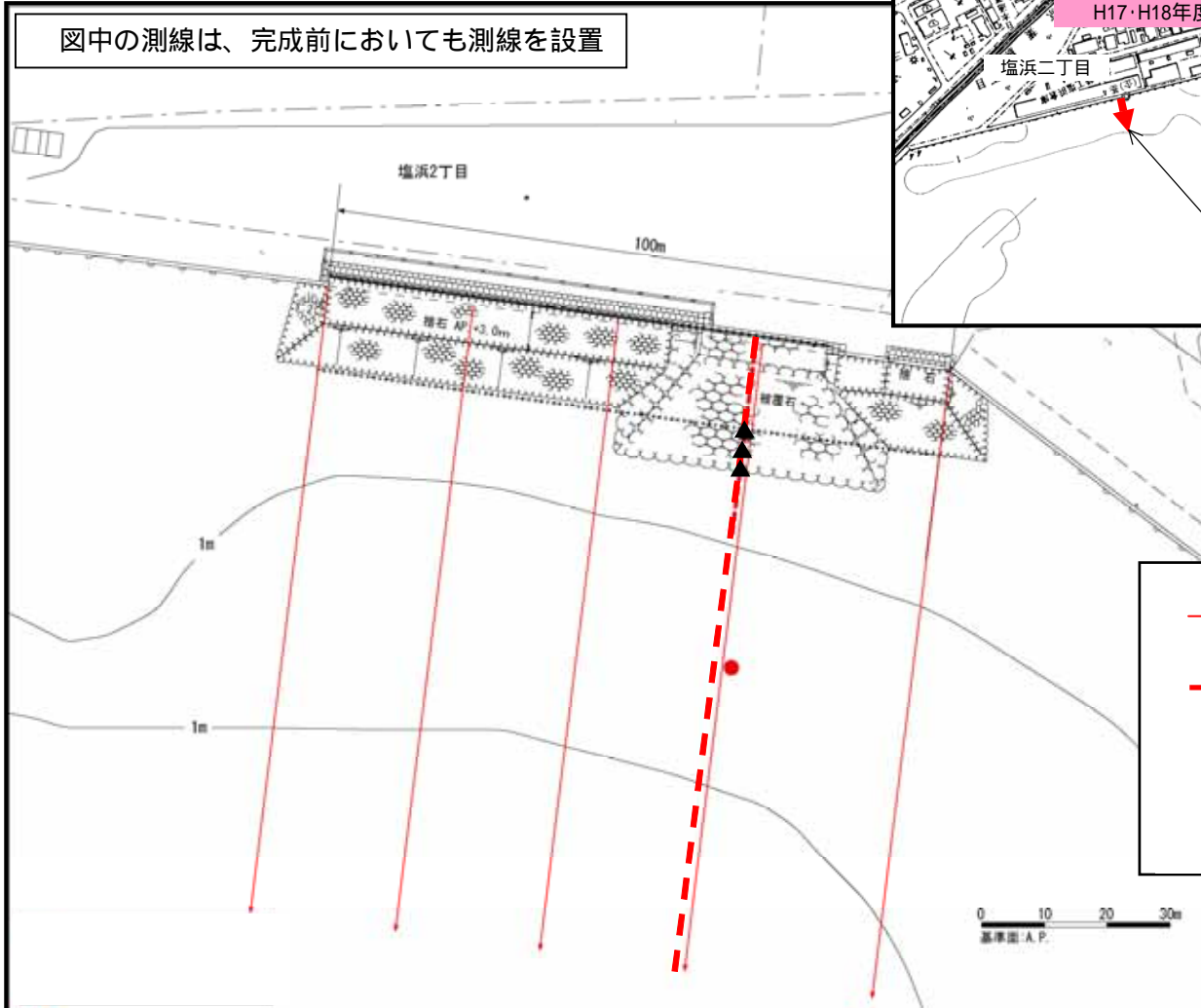
項目	目的	方法	時期(間隔)	数量等
波浪 (流況)	護岸前面域の波浪(流況)状況変化の把握 ・波高・波向の計測 ・波浪流の計測(海底面上約1m)	波高・流速計の設置 (30日間連続観測)	施工前:3月 施工後 秋季:9月 春季:3月	・護岸前面の1箇所(30日連続観測)
地形	・護岸部の張り出しによる周辺への物理的影響の把握 ・洗掘等による周辺地形の変化の把握等	地形測量	施工前:3月 施工後 ・秋季:10月 ・春季:4月	・既設護岸法線から離岸距離100mまで ・施工範囲100mに対して5測線 (20m間隔)
底質	粒径の変化の把握	採泥・粒度試験	地形と同じ	深浅測量の中央の1測線で10m間隔で採泥 (11検体)
生物	潮間帯生物の定着状況 調査は公開とし、ライントラセクト法による観察は市民との協働で行うものとする。	ライントラセクト法による観察	施工前 : 3月 施工後1ヶ月 : 10月 施工後3ヶ月 : 1月 施工後7ヶ月 : 4月 施工後1年 : 9月	・施工区の中央部に1測線,対照区として測線L-2の1測線(100m)及び塩浜1丁目の応急補修工事区間の計3測線 ・石積護岸部(斜面上): 方形枠(50cm×50cm)による連続目視観察 ・のり先から離岸距離10mまで1m間隔 ・のり先から離岸距離10~100mは10m間隔
		採取分析		
景観	・周辺域との景観の調和 ・石積へのごみの堆積状況の把握	委員、一般市民参加による見学会形式	施工後数回	実施時期については、完成後の経過時間と台風後などの状況を踏まえて決定する。

注1:各調査の継続年については、モニタリング結果を検証しながら決定していくものとする。

注2:実施時期(間隔)については、状況(現地天候、予算等)により若干の変更を行う場合がある。

モニタリング調査位置

図中の測線は、完成前においても測線を設置

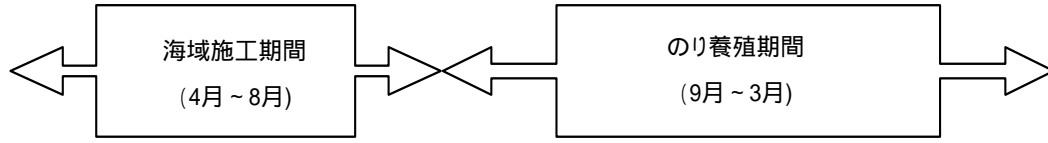


- 地形測量 (延長100m)
- - - 潮間帯生物(目視観察)
- ▲ 潮間帯生物(採取分析)
- 波高・流況

実施工程表

項目	年度		H18												備考	
	月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
護岸工事	準備工	手続きなど														
	捨石工			基本断面部、捨石部 L=100m				基本断面部 追加分 L=20m								
	鋼矢板工 鋼杭工					海側・陸側 L=100m										
	被覆工							A.P.+3.0m以下			A.P.+3.0m以上				基本断面部 完成 L=20m	
	陸上工事					既設上部工撤去			上部工新設							
モニタリング調査	波浪・流況															
	地形															19年度は4月上旬に計画
	底質															19年度は4月上旬に計画
	生物															19年度は4月、9月上旬に計画
	景観															19年度も計画

景観調査の実施時期については、完成後の経過時間と台風などの状況を踏まえ決定。



塩浜 2 丁目の護岸改修の流れ = 順応的管理を踏まえた改修の流れ =

